苫小华	女工業語	 高等専門学校	文 開講年度	令和03年度 (2	2021年度)	授業科目	医療・福祉		
科目基礎		רוניוני וני	X F14101 X	13/100 1/2 (2	1021 1/2)	及本口口	区次 旧正		
科目番号	CIHTK	0014			科目区分	専門 / 選技			
授業形態		授業			単位の種別と単位				
開設学科			科(専門共通科目)	1	対象学年		4		
開設期		前期	一件(等门共进行日))	週時間数	2			
<u> </u>	1 +		が作成した教材を		型時间数 2				
教科音/教 担当教員	1/1								
	.	一 一 奥山 田,	中村 希杉,滕田 杉	毕,上台 主失,二上 峢					
到達目標									
		る社会背景,琲	状とその問題点お	よび技術的要素を経	営や専門技術の視点	点から学び理解す	る		
ルーブリ	<u> </u>								
			理想的な到達し	バルの目安(優)	標準的な到達レヘ	ジルの目安(良)	未到達レベルの目	1安(不可)	
X-A 創成能力			への配慮、文化 的な観点に配慮 枠にとらわれす 的課題や、需要	公衆の健康・安全 の・社会的・環境 をしつ、既存の に、複合したシステ に適合したシステ 工程を設計するこ	現実を踏まえ、公衆の健康・安全や文化・社会・環境に配慮すべきことが理解できる。さらに、複合的な工学的課題や、需要に適合したシステム・構成要素・工程の設計に取り組むことができる。		現実を踏まえ、公衆の健康・安全や文化・社会・環境に配慮すべきことが理解できる。さらに、複合的な工学的課題や、需要に適合したシステム・構成要素・工程の設計に取り組むことができない。		
学科の至	達日標	票項目との関	•		1		'		
I 人間 Ⅱ 実践 Ⅲ 国際		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
教育方法									
概要		を (1) た、(2) (1) た、(2) (MRI, 学(3) (術を(4) を(情(5) (料最大) (料最大)	医療・福祉では、下記の4つのテーマに分け、社会的背景、現状とその問題点および技術的要素を経営や専門技術の視点から学び理解する。下記4つのテーマを受講後、PBL形式のグループ課題に取り組み、与えられた課題に対する解決策検討しプレゼンテーションによる発表およびドキュメントとしてまとめる。 (1) 生体情報では、脳波や筋電などの生体信号計測およびその情報処理に関する技術と歴史的経緯について学ぶ。また、それらを用いた医療診断への応用と最近の研究事例を通した今後の医療の発展性について講義・議論する。 (2) 医用画像では、2次元X線写真(レントゲン写真)、X線CT像といったX線を使用する撮像装置を中心としてMRI、内視鏡など診断・治療に用いられる画像およびその撮影装置について、基本的な原理とその歴史的経緯についてが、と共に、簡単な画像処理、それらを用いた応用や最新の研究事例を通して講義を行う。 (3) プラズマと医療では、プラズマを用いて既に実用されている医療機器や、実用化に向けて研究がされている医療がについて、実際のプラズマ発生装置を見ながら学ぶと共に、プラズマを用いた医療機器の実用化に向けた問題点なで含めて、今後の発展について検討する。 (4) 福祉工学と人間拡張では、福祉工学の概念を学ぶ事によって、現在注目されている人間拡張技術に触る。それらが情報を元に、福祉機器や人体内部情報の関係性について講義・議論する。 (5) 医療と化学では、実際に使用されている医用材料、医用材料について講義・議論する。化学の視点から医療との関わりについて考え議論する。 は大受講人数は40名までとする。						
授業の進め <u></u> 注意点	か方・方法	グルー 法 な視点が この科 ン学習お	·プワークについて ›ら検討・設計・発	は, 与えられた課題 表等を行う. のため, 事前・事後: に取り組む.	に対して,今までに	こ学んだ知識や技	術に基づき,その応		
授業の属	属性・履	優修上の区分)						
□ アクテ			□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応		□ 実務経験のあ	る教員による授業	
		週	授業内容			週ごとの到達目標	<u> </u>		
		1週							
		2週							
		3週							
	1stQ	4週							
	IsiQ	5週							
		6週							
	1	7週							
		l ave							
前期		8週							
前期		9週							
前期									
前期		9週 10週 11週							
前期	2ndO	9週 10週 11週 12週							
前期	2ndQ	9週 10週 11週 12週 13週							
前期	2ndQ	9週 10週 11週 12週							
前期	2ndQ	9週 10週 11週 12週 13週							
前期	2ndQ	9週 10週 11週 12週 13週 14週							
		9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週							
評価割合	<u> </u>	9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	医用画像	プラズマと医療	福祉工学と人間拡張	医療と化学	グループワーク	合計	
		9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	医用画像 8 4	プラズマと医療 8 4	福祉工学と人間拡張 8	医療と化学 8 4	グループワーク 60 30	合計 100 50	

専門的能力	4	4	4	4	14	30	l50 l
(1) THIS (1) THE CALL	т —	7	7	т —	, T	30	100